

## 第24回青梅市中心市街地活性化協議会 会議録

日 時 2023年5月15日(月) 10:30~11:30

会 場 青梅商工会議所 第1会議室

1. 開会挨拶 中村会長
2. 確認事項
  - (1) 資料の確認
  - (2) 定足数の確認
  - (3) 前回会議録について
3. 協議事項
  - (1) 2022年度事業報告および収支決算書について
  - (2) 令和4年度青梅市中心市街地活性化基本計画の最終フォローアップに関する報告について
  - (3) その他
4. その他
  - ・株式会社まちづくり青梅について
5. 閉会挨拶 小山副会長

(配布資料)

- ・名簿
- ・2022年度事業報告
- ・2022年度決算書
- ・令和4年度青梅市中心市街地活性化基本計画の最終フォローアップに関する報告
- ・基本計画事業一覧(令和4年度事業進捗状況)
- ・令和4年度青梅市中心市街地活性化基本計画の最終フォローアップに対する意見書(案)

<p>司会</p>	<p>皆様、お忙しいところ、お集まりいただき、誠にありがとうございます。定刻になりましたので、今回が最終となります、第24回中心市街地活性化協議会を開催させていただきます。</p> <p>本日、司会進行をさせていただきます、青梅商工会議所の池田でございます。よろしくお願いいたします。</p> <p>さて、開会の前に委員の変更がございます。お手元の資料1をご覧ください。お手もとに資料が無い場合は、挙手願います。</p> <p>変更された構成員の方を申し上げますので、お手数ですがその場でご起立頂ければ幸いです。</p> <p>協議会規約第10条2項により、任期中に変更が生じた場合、当該構成員の後任者が引き継ぐ規約になっています。まず、青梅市地域経済部長森田部長となります。前任の星野部長から変更となります。続きまして、JR東日本旅客鉄道(株)森山青梅駅長となります。前任の飯島青梅駅長から変更となります。本日は遊佐副長に代理出席をいただいております。以上が構成員変更のご紹介となります。</p> <p>それでは協議会の開会に先立ちまして、中村会長よりご挨拶をいただきたいと存じます。中村会長、よろしくお願い致します。</p>
<p>会長</p>	<p>皆様、おはようございます。ゴールデンウイーク明けのお忙しいところでお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。この協議会は今回が最後の協議会となりますが、皆様のお力で青梅市の中心市街地活性化は、S&amp;Dたまぐーセンターもでき、アキテンプ不動産やマルシェなどいろいろなところで活性化ができ、一定の成果を収めたのではないかと思います。常々考えるのは、地域として活性化していくことは大切であり、広い意味では青梅市全体が発展することが大切です。商工会議所としては、会員企業が発展していただくことも大切であり、会員企業がどこに出店するのがいいのかということも考えていく必要があると思っています。これからも中心市街地活性化を行っていくのですが、少し幅広い意味で考えていくことも必要なのではないかと思います。そのあたりは後程、説明があると思いますが、本日はご審議の程、よろしくお願い致します。</p>
<p>司会</p>	<p>中村会長、ありがとうございました。</p> <p>これ以降、議事の進行につきましては中村会長にお願いしたいと思いますので、よろしくお願い致します。</p>
<p>議長</p>	<p>それでは確認事項から入らせていただきます。事務局より説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>それでは確認事項の資料の確認から前回会議録について、説明をさせていただきます。</p> <p>まず、資料の確認ですが、お手元の資料で最初が席次表となります。続きまして、次第となります。続きまして、資料1の活性化協議会の名簿となります。続きまして、資料2の2022年度事業報告となります。続きまして、資料3の2022年度決算書となります。続きまして、資料4の令和4年度青梅市中心市街地活性化基本計画の最終フォローアップに関する報告となります。続きまして、資料5の基本計画事業一覧(令和4年度事業進捗</p>

	<p>状況) となります。最後になります。資料6の令和4年度青梅市中心市街地活性化基本計画の最終フォローアップに対する意見書(案)となります。以上が本日の配布資料となります。資料不足がありましたら挙手をお願いいたします。大丈夫ですので、次に進ませていただきます。</p> <p>続きまして、定足数の確認となります。本日の出席状況ですが、定数36名に対して、出席者16名、委任状出席20名、合計36名となります。協議会規約第12条第2項により、委員の過半数の出席をもって本協議会は成立することを報告させていただきます。</p> <p>続きまして、前回会議録となります。前回の協議会は今年1月に開催しました。前回会議録につきましては、既に皆様のお手元にご案内させていただいておりますので、本日は資料に入れていませんが、何か修正等がありましたら、事務局までご一報いただければと存じます。よろしくお願いいたします。</p> <p>以上、確認事項の説明を終了させていただきます。</p>
議長	<p>ありがとうございました。</p> <p>次に協議事項に入らせていただきます。2022年度事業報告および収支決算書についてです。事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>それではお手元の資料2をご覧ください。2022年度事業報告を説明させていただきます。</p> <p>最初に協議会になります。中心市街地活性化協議会を昨年度は2回開催いたしました。第22回を2022年4月25日に、第23回を2023年1月30日に開催いたしました。議案等につきましては資料のとおりとなります。</p> <p>次に視察受入となります。昨年度は全部で4団体の視察受入を行いました。視察の内容はアキテンポ不動産、おうめマルシェの関係等のまちづくりを中心とした視察受入となっています。来街者は合計で43名となっています。</p> <p>次に活動いただきましたタウンマネージャーにつきましては、実績から多様な視点を導入し、中心市街地の活性化、地元と密着した独自性の高い市街地の課題解決等を目的として、國廣タウンマネージャーに74日活動いただきました。さらにアドバイザーにつきましては、中心市街地活性化およびアキテンポ不動産等の対応を目的として、本橋アドバイザーに47日活動いただきました。以上が事業報告となります。</p> <p>次に資料3の2022年度収支決算書を説明させていただきます。支出の部ですが、協議会運営費といたしまして、タウンマネージャー謝金2,261,070円、アドバイザー謝金718,019円、事務局運営費93,030円、会議費5,135円、通信運搬費26,438円、消耗品費88,521円、以上が支出となります。支出の部の合計が3,192,213円となります。続いて収入の部ですが、補助金として青梅市から2,553,770円、青梅商工会議所から638,443円となります。収入の部の合計が3,192,213円となります。以上、2022年度収支決算となります。</p>
議長	<p>ありがとうございました。</p> <p>この収支決算書につきましては、過日、監事に監査を行っていただいておりますので、</p>

	ただいまの報告につきまして、監査報告を久保監事をお願いいたします。
監事	先般、4月13日に青梅商工会議所におきまして、関係書類を確認させていただきました。監査の結果、帳簿書類等は正確適切に処理されたことをご報告申し上げます。以上です。
議長	ありがとうございました。 ただいまの報告につきまして、皆様から何かご意見等がございますでしょうか。よろしければ拍手でご承認を頂きたいと存じます。
全員	拍手で承認。
議長	ありがとうございました。 次に令和4年度青梅市中心市街地活性化基本計画の最終フォローアップに関する報告について、青梅市より説明をお願いします。
青梅市	<p>それでは青梅市からの報告といたしまして、お手元の資料4をご覧ください。令和4年度青梅市中心市街地活性化基本計画の最終フォローアップに関する報告に基づき、目標達成状況等につきまして報告させていただきます。この最終フォローアップに関する報告は計画期間終了後、計画期間終了時点の取り組み評価を自己評価し、その結果を内閣府に報告します。</p> <p>最初に資料4の1ページ目をご覧ください。中心市街地全体に係る評価の計画期間終了後の市街地の概況になります。ここでは基本計画に基づいて取り組みを実施した結果について説明したうえで、計画期間内に新たに追加した事業や中心市街地に賑わいが戻ってきている状況等について記載しています。</p> <p>次に中心市街地の状況に関する基礎的なデータの居住人口と地価についてです。居住人口については令和4年度、つまり令和5年1月1日の人口は4,758人となっております。計画当初より人口が減少している状況となります。地価については、令和2年度、令和3年度には地価が下がりましたが、令和4年度ではやや回復傾向となっております。</p> <p>次に計画した事業等は予定どおり進捗・完了したか、また、中心市街地の活性化は図られたか、についてです。進捗・完了状況は概ね予定通り進捗・完了したとし、活性化状況は若干活性化したと判断し記載しました。理由は、進捗状況及び活性化状況の詳細とその理由に記載のとおりとなります。計画していた事業の進捗状況については、一部の事業を除き、多くの事業が滞りなく実施されており、概ね予定通りに進捗・完了したと言えます。また、目標指標に掲げている新規出店数については目標を達成しました。市民アンケートにおいても、店舗の新規出店が増えた等の計画事業の効果を挙げる意見が多かったです。こうした状況から、居住人口の減少はあるものの、新規出店数の増加や回遊性の向上により賑わいが創出され、中心市街地は若干活性化したと判断しました。なお、各事業の進捗状況につきましては、資料5の基本計画事業</p>

一覧（令和4年度事業進捗状況）をご確認いただければと存じます。

次に中心市街地活性化基本計画の取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見につきましては、後程、協議事項で事務局より報告させていただきます。

次に市民意識の変化についてです。青梅市中心市街地活性化に関する市民意識アンケート調査を令和5年3月5日から3月31日の期間に市民を対象として、インターネット回答方式または市イベント等における紙調査の方法で実施しました。調査内容としては、7年前と比較して中心市街地に賑わいがあると感じるか、7年前と比較して中心市街地の活性化に効果があったと思う取組はどれか、を調査しました。調査結果として、計画期間前と比較して中心市街地に賑わいがあるかという市民意識としては、総合的には変化なしの水準でありましたが、中心市街地の活性化に効果があったと思う取組では、新規出店の増加やシネマネコ、文化交流センターのオープン等、基本計画に位置づけられた事業を挙げる意見が多く、この基本計画が中心市街地の活性化に寄与したことを示している結果となりました。

次に今後の取組についてです。基本計画期間が終了しましたが、ここで得た知見や経験等を今後のまちづくりに活かしていくことや、青梅市では新たな一般社団法人を設立して青梅市の地域活性化やまちの賑わいを創出すること、計画事業のうち、青梅駅前地区市街地再開発事業等、現時点で完了していない事業についても引き続き実施・支援していくことを記載しています。

次に目標ごとのフォローアップ結果の各目標の達成状況についてです。基本計画に掲げる3つの目標のうち、街なか居住の促進については、目標指数である居住人口の目標値5,271人に対し、最新値が4,758人であり、目標は達成できませんでした。達成状況はCとしています。経済活力の向上については、目標指数である新規出店数の目標値46件に対し、最新値が58件であり、目標は達成しています。達成状況はAとしています。回遊性の向上については、目標指数である観光案内所来所者数の目標値94人／日に対し、最新値が85.9人／日であり、目標は達成できませんでした。達成状況はB2としています。

次に目標指標毎のフォローアップ結果になります。居住人口につきまして調査結果をまとめており、先程、報告させていただきましたとおり、目標は達成できませんでした。

次に分析内容についてです。青梅市全体として人口減少が起きていることが要因となっていることを記載しています。

次に目標達成に寄与する主要事業の計画終了後の状況及び事業効果についてですが、各事業について記載していますので後程、ご確認いただき、ここでは説明を割愛させていただきます。

次に今後の対策になります。目標達成には至りませんでした。引き続き、青梅駅前地区市街地再開発事業の支援を行っていくこと、現在の事業の継続により、まちなか居住の促進、まちの賑わい創出に向けて取り組んでいきたい旨を記載しています。

次に新規出店数になります。令和4年度における新規出店数は8件でした。従いまして、平成28年からの合計が最新値で58件となっており、目標達成となりました。

	<p>次に分析内容になります。目標達成の要因として、アキテンポ不動産事業の実績が当初の見込みより増えていることなどを理由にあげています。</p> <p>次に目標達成に寄与する主要事業の計画終了後の状況及び事業効果についてですが、各事業について記載していますので後程、ご確認いただき、ここでは説明を割愛させていただきます。</p> <p>次に今後の対策になります。目標達成することができ、この実績水準を今後も引き続き保ちつつ、新規出店による経済活力や回遊性の向上を図るため、アキテンポ不動産事業等により、さらに拡充していくことも検討していきたい旨を記載しています。</p> <p>次に観光案内所来所者数になります。最新値は 85.9 人／日となっており、数値が回復傾向となりましたが、目標達成はできませんでした。</p> <p>次に分析内容になります。新型コロナウイルス感染拡大の影響によりイベント等の中止がありましたが、数値もコロナ禍から回復傾向にあることをあげています。</p> <p>次に目標達成に寄与する主要事業の計画終了後の状況及び事業効果についてですが、各事業について記載していますので後程、ご確認いただき、ここでは説明を割愛させていただきます。</p> <p>次に今後の対策になります。ここでは目標達成には至りませんでした。イベント等が再開された際には、さらなる中心市街地における回遊性の向上が期待できる旨を記載しています。</p> <p>青梅駅前地区市街地再開発事業等、各継続事業につきまして、青梅市としましても継続して支援を続けていきますので、今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。</p> <p>以上、令和4年度青梅市中心市街地活性化基本計画の最終フォローアップに関する報告となります。</p>
議長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは今の説明を踏まえまして、事前に事務局で意見書（案）を作成いたしましたので、事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>それでは資料6の令和4年度青梅市中心市街地活性化基本計画の最終フォローアップに対する意見書（案）をご覧いただければと存じます。青梅市からの報告、説明を受けまして、こちらで作成した意見書（案）を読み上げさせていただきます。</p> <p>— 「令和4年度青梅市中心市街地活性化基本計画の最終フォローアップに対する意見書（案）読み上げ —</p> <p>以上が意見書（案）となります。また、先程の青梅市からの報告にありました、中心市街地活性化基本計画の取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見につきまして、活性化状況を若干活性化したとし、詳細を意見書（案）の内容を記載させていただきたいと存じます。</p> <p>以上のとおり、意見書を青梅市に提出したいと思っておりますので、ご審議のほど、よろしくお願ひいたします。</p>

議長	<p>ありがとうございました。</p> <p>何かご意見等はございますでしょうか。よろしければ、皆様、拍手でご承認をいただきたいと存じます。</p>
全員	<p>拍手で承認。</p>
議長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それではこちらの内容で提出させていただきます。その他は何かございますでしょうか。</p>
副会長	<p>それでは株式会社まちづくり青梅についてご報告させていただきます。前回の協議会からの活動になりますが、2月24日、25日でアキテンプ見学会を開催しまして、9名の参加がありました。これとは別に、青梅駅前再開発に伴う仮店舗2件の賃借についてご協力をさせていただきました。おうめマルシェですが、毎年1月、2月は寒いこともあり、実施を見合わせていますが、3月から再開しています。</p> <p>株式会社まちづくり青梅ですが、中心市街地活性化基本計画の事業といたしまして、空き店舗対策やまちの賑わい創出のためのおうめマルシェなど、一定の成果をあげ、その役目を果たしたと言えます。そこで、中心市街地活性化基本計画終了に伴いまして、6月30日をもって解散することとなりました。会社設立から7年、皆様のご協力に対し、御礼を申し上げます。なお、株式会社まちづくり青梅が行ってきた事業は、新たに設立された一般社団法人こーよ青梅に移管し、継続して事業を進めていきたいと思っています。引き続き、よろしくお願いいたします。</p> <p>次に一般社団法人こーよ青梅の設立の説明になります。株式会社まちづくり青梅が行っていた事業を継続する組織として、一般社団法人こーよ青梅を4月28日に設立いたしました。代表理事に小山副市長、理事に青梅商工会議所中村会頭、青梅市商店会連合会久保会長、青梅信用金庫平岡理事長、他の方々に理事に就任していただきました。一般社団法人こーよ青梅は、事業内容を青梅市中心市街地活性化区域から青梅市全域に広げて、まちの賑わい創出に関する事業を推進して青梅市の発展に寄与していきます。事務所は現在の株式会社まちづくり青梅の場所で住所も電話番号も引き継ぎます。スタッフ2名もそのまま一般社団法人こーよ青梅で働いていただきます。現在、6月中に事業の移管が完了するように手続きを進めています。以上が株式会社まちづくり青梅および一般社団法人こーよ青梅のご報告となります。</p> <p>また、青梅駅前の再開発についてですが、本日、5月15日から解体が始まりました。年内に解体が完了となる予定です。最初に南側道路沿いの木造部分が解体され、その後、青梅駅方面に解体が進んでいく予定となっています。</p> <p>以上、報告とさせていただきます。</p>
議長	<p>ありがとうございました。</p> <p>その他は何かございますでしょうか。ないようですので、これで協議事項を終了させ</p>

	<p>ていただきます。こちらですべての議事が終了いたしましたので、議長を終了させていただきます。ありがとうございました。</p>
司会	<p>中村会長、議事進行、ありがとうございました。</p> <p>協議会開催前にもお伝えさせていただきましたが、今回の協議会が最終となります。それでは閉会の挨拶を副会長の小山副市長、よろしく願いいたします。</p>
副会長	<p>本日の第24回青梅市中心市街地活性化協議会、滞りなく終了をしたことにつきまして、まずは御礼を申しあげます。青梅市中心市街地活性化基本計画は2023年3月末をもって期間終了となりまして、この協議会におきましても今回をもって終了となります。皆様におかれましては、本協議会設立から10年間、長きにわたりまして中心市街地活性化のためにご尽力をいただき、たいへんありがとうございました。先程、事務局からの最終フォローアップのなかで報告がありましたが、皆様のご協力をもちまして、この期間中、厳しい状況ではありましたが、計画推進の成果が着実に出てきたものと感じています。青梅市といたしましては、ここで得られた多くの知見、経験を青梅市全体にいかしていく必要があると考えています。また、先程、ご案内もありましたとおり、一般社団法人こーよ青梅を設立いたしました。私自身も代表理事に就任し、今後も青梅市のまちの賑わい創出や地域経済の活性化等、好循環を目指して力強く牽引してまいりますので、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申しあげます。また、協議会は終了いたしますが、現在進行している青梅駅前地区市街地再開発事業、新市民ホール等複合施設整備事業、先般、プールの解体が終了し、今年度から本格的に利活用を検討していく釜の淵公園改修事業と青梅市中心市街地活性化計画に位置付けられていたプロジェクトが残っています。今後も皆様方のご支援、ご協力を賜りながら青梅市としても事業を着実に進めていければと考えていますので、どうぞよろしくお願いいたします。以上で閉会のご挨拶とさせていただきます。10年間、たいへんありがとうございました。お疲れ様でした。</p>
司会	<p>小山副会長、ありがとうございました。</p> <p>これで協議会は終了となります。ありがとうございました。お疲れ様でした。</p>